

山形 いぶき



YNA 夢・ナースング・愛

鶴岡市立湯田川温泉
リハビリテーション病院

TOPICS

- ❖ 山形県健康福祉部との業務推進懇談会
- ❖ 訪問看護担い手事業を受けて
- ❖ 山形・最北支部活動
- ❖ 県内の認定看護師・アドバンス助産師の活動
- ❖ 医療職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ
- ❖ ナースセンターだより

鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院は、回復期リハビリテーション病棟と医療療養病棟からなる主にリハビリテーションを提供する病院です。

「科学的根拠に基づいた幅広い知識と正確な技術で心のこもったあたたかい看護・介護を提供します」を一つの看護方針として、患者さんに寄り添い、患者さんが自分らしい生活を再構築するために、心身の機能回復に向け多職種でチームとなり症状や障害を評価・援助し、出来る限りのADL自立やQOLの向上を目指し支援しています。

看護部長 斎藤 栄美子

2020年度「日本看護協会通常総会・全国職能別集会」

- 期日：2020年6月11日(木)～12日(金)
- 場所：福岡県福岡市 マリンメッセ福岡

2020年度「山形県看護協会通常総会並びに職能研修会」

- 期日：2020年6月19日(金)
- 場所：山形県看護協会会館・看護研修センター

2019年度会員数
(10月現在)

保健師	362
助産師	361
看護師	6,855
准看護師	176
計	7,755



「山形県健康福祉部との業務推進懇談会」を開催して



公益社団法人 山形県看護協会 副会長 室矢 美奈子

令和元年9月5日(木)山形県看護協会会館において「山形県健康福祉部との業務推進懇談会」が開催されました。山形県健康福祉部の阿彦忠之医療統括監はじめ、健康づくり推進課1名、長寿社会政策課1名、地域医療対策課3名の皆さまにおいでいただき、山形県看護協会からは会長はじめ役員19名、事務局5名が出席しました。

はじめに、井上会長より日本看護協会と山形県看護協会の2019年度事業概要について、続いて山形県健康福祉部より施策推進の基本方針である「安心して健康長寿で暮らせる医療提供体制の充実」「災害時対策など暮らしの安全・安心の確保」等について説明がありました。

情報交換会のテーマは(1)地域包括ケアにおける看護提供体制の推進と地域の看護力強化(2)看護職の働き方改革の強化(3)看護の資質向上と人材育成(4)継続した公益目的事業の展開(5)職能委員会活動の強化と連携の推進でした。5つのテーマについて貴重な情報交換、活発な意見交換が行われました。「健康長寿日本一」の実現に向け地域包括ケアシステムの構築は勿論のこと、近年の地震や台風など自然災害の医療救護体制の強化について、県行政と山形県看護協会との連携を図りながら活動する必要性を再認識しました。

理事会等の開催報告

令和元年 8月2日(金)
第4回理事会

審議事項

1. 2019(令和元)年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会について
1) 業務推進懇談会までのスケジュール<承認>
2) 情報交換の議題について<承認>

令和元年 9月5日(木)
第5回理事会

審議事項

1. 2019(令和元)年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会について<承認>

令和元年 10月3日(木)
第6回理事会

審議事項

1. 2020(令和2)年度山形県看護協会 通常総会の日程について<承認>
2. 2019年度事業計画及びスケジュールについて<承認>
3. 地域の看護力強化支援事業
山形地域看護管理者ネットワーク会(仮)の申請書(案)について<承認>

令和元年7月上旬～令和元年10月中旬の山形県看護協会事業実施状況

令和元年 7月 8日(月)	第3回在宅看護学会準備委員会
令和元年 7月 21日(日)・28日(日)	小児在宅医療研修会
令和元年 8月 7日(水)	山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野)開講式
令和元年 8月 8日(木)	認定看護管理者教育課程ファーストレベル閉講式
令和元年 8月 14日(水)	山形県看護協会「夏まつり」
令和元年 8月 19日(月)	第4回在宅看護学会準備委員会
令和元年 8月 21日(水)	認定看護管理者教育課程フセカンドレベル開講式
令和元年 8月 24日(土)	置賜支部研修会
令和元年 8月 29日(木)	医療安全管理者養成研修開講式
令和元年 8月 29日(木)	新人保健師交流会
令和元年 8月 31日(土)	庄内支部研修会
令和元年 9月 6日(金)	医療安全管理者養成研修閉講式
令和元年 9月 12日(木)	山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野)閉講式
令和元年10月 15日(火)・16日(水)	令和元年度医療職のWLB推進ワークショップ
令和元年10月 18日(金)	第5回在宅看護学会準備委員会

栄えある受章おめでとうございます



◇那須 和子様
◇川合 由美子様
◇安孫子 美智子様

(元国立がん研究センター中央病院看護部長)
(元山形大学医学部附属病院看護部看護師長)
(元特別養護老人ホームやまのべ荘主任看護師)

瑞宝双光章
瑞宝単光章
瑞宝単光章



訪問看護出向に期待すること



寒河江市立病院 総看護師長 渡邊 ひろみ

2019年度訪問看護担い手事業を受けて、10月から12月迄の3か月間、訪問看護ステーションまいづるへ出向しお世話になっております。2年前も同施設へ3か月間出向をさせていただきました。参加した看護師は、提供できるサービスをあらゆる分野から検討し、①多職種それぞれの専門性を発揮し支援する、②家族を単位としたケアと支援が必要である、③ケースに応じた適切で柔軟な対応が求められることを学んできたと述べています。これらは地域包括ケアシステムの構築における地域完結型を目指す病院看護師にとって、必要なスキルといえます。その人らしさを支えるためには個々のケースそれぞれの生活に応じた支援が必要であり、退院支援には大切なスキルでもあります。

今回出向している看護師は病棟主任看護師であり、退院支援を課題として取り組んでいます。再び訪問看護担い手事業に参加させていただけることを感謝すると共に、事業を通して実際の体験から多くのことを学び、個々の患者さんの生活に応じた退院支援ができるようになることを期待したいと思います。



「身体抑制をしない看護」研修を受講して

～抑制ゼロは実現可能～

米沢市立病院 塩田 千裕



講師の小藤幹恵先生

近年は身体抑制ゼロの時代となっている。金沢大学附属病院では、実際に身体抑制ゼロの月が続いており驚いた。看護部全体の意識の高さや、病院全体の協力体制が整っており、身体抑制を行わない看護のために夜勤の看護師を増員して対応した事例があったことを聞き感心した。

当病棟では、本当に抑制が必要な患者であるかをチームで検討し、患者の近くで観察できる時は抑制を外すなどの対応を行っている。しかし急性期患者には、せん妄を引き起こす要因が様々ある。

看護師の観察や接し方のスキルでせん妄の増悪に繋がるため、せん妄対応を考えた時には「降りないでください」「抜かないでください」等の

制止するような言動は避けたい。また、尿意や徘徊などの行動パターンを早期にキャッチし援助することで、不要な抑制をしなくてもよいと言える。こうした行動を皆が同じくとれるよう、せん妄の知識を深めるとともに、医師・看護師間での協力が必要不可欠である。

抑制ゼロを目指すには、まずはせん妄患者の見極めや早期の看護介入が必要であると言える。看護師だけでなく病院全体の取り組みとして考えていくことで、意識の改善や、せん妄と抑制患者に対しての向き合い方が変わってくる。今後は、せん妄チームでの取り組みを早期に実行に移せるように他職種とカンファレンスし進めていきたい。

在宅ケア推進委員会よりお知らせ

在宅ケア推進委員会では、山形県在宅医療連携情報を毎年更新しています。訪問看護ステーションの情報をぜひご確認ください。



URL: <http://www.nurse-yamagata.or.jp/visit/list.html>

第51回日本看護学会 - 在宅看護 - 学術集会<山形県> 2020年11月5日(木)～6日(金) 山形テルサ 人生100年時代の在宅看護～いきる力と暮らしをつくる～

多くの演題を
お待ちしております！

次年度、標記の学術集会が山形県で開催されます。

各都道府県が、将来の医療提供体制について定めた「地域医療構想」をめぐって、各地で調整が進められ、医療機関、福祉施設、訪問看護ステーション、自治体等、様々な場で連携、協働した取り組みが始まっています。人生の最後まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるための在宅看護が求められています。

看護職は、その人がどのように生きてきたのか、暮らしの中で何を大事にしているのか、人生100年時代のための「生きる力」を引きだし、その人の療養生活を支えた暮らしをつくっていくための専門性を発揮していくことが重要です。そのためにも、外来から始まる療養支援、在宅看護で実践している看護やケア、また多職種からの情報を共有してみませんか。たくさんの方々が参加し、学会を盛り上げてくださることを願っています。

看護職賠償責任保険制度 **ハラスメント相談窓口** ☎0120-515-404

看護職賠償責任保険制度の加入者向けに新しいサービスがスタートしました。

ハラスメントとは、本人の意図に関係なく「他者に対する発言や行動等が相手を不快にさせる・尊厳を傷つける・不利益を与えたりすること」を指し、その種類は様々です。本サービスでは業務上で生じたハラスメントに関わる出来事について電話相談を受け付けています。詳しくは下記までお問合せください。

ポイント1 看護職による対応・助言を受けられます。

状況の整理、支援体制の確認、今後の対応についての助言が受けられます。相談者が本保険の加入者であれば、加入者本人以外がハラスメント当事者であっても相談ができます。

ポイント2 臨床心理士による対応・助言が受けられます。

ハラスメント事象やハラスメントによるダメージへの心理的サポートが受けられます。(完全予約制)

ポイント3 公的な支援機関の紹介を受けられます。

相談内容やダメージに応じて、適切なケアやサポートを受けられる公的な支援機関を紹介してもらえます。

資料請求・加入方法の問い合わせ先

看護職賠償責任保険制度コールセンター

TEL 0120-088-073 (月～金 9:00～20:00 土・日・祝 9:00～17:00)

看護職賠償責任保険制度ホームページ

<https://li.nurse.or.jp/>

誤接続防止(経腸栄養分野)コネクタ新規格製品移行に関する注意点

医療機器などのチューブ類誤接続による事故事例が国内外で報告されており、誤接続を防止するための対策として、経腸栄養分野で専用コネクタの導入が始まりますので、移行には以下の点にご注意ください。

- 注意点①** 2019年12月以降、新規格製品の準備が整い次第、販売が開始され、2021年11月末には旧製品(現行品)の出荷が終了となります。
- 注意点②** 新製品と旧製品、他の医療機器のコネクタは太さや形状が異なるため、相互に接続することができません。関連するシリンジや延長チューブ等も専用タイプに替わります。
- 注意点③** 新規格製品の包装には **【ISO80369-3】** と記載されます。
- 注意点④** 原則として一斉に切り替えることが重要です。ただし、移行期間(旧製品と新製品が混在する期間)は、施設を移動する患者に対して適切な医療等を行える体制を整えなければなりませんので変換コネクタを準備する必要があります。

※製品の概要や導入に関する注意事項、導入手順等に関する詳細は PMDA 医療安全情報特設ウェブサイト

(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medical-safety-info/0185.html>) にてご確認ください。

山形支部 活動状況

山形支部研修会とまちの保健室を開催して

山形支部長 川窪のり子

山形支部の活動として主なものは、「研修会」と「まちの保健室」の事業があります。「研修会」は年2回、「まちの保健室」は年8回行っております。

今年度第1回目の研修会は、8月3日に山形県看護協会の井上栄子会長より「新たな時代に、未来につなげる看護の専門性が発揮できる地域づくり」のご講演をいただきました。地域包括ケアシステムに向け看護力の強化が求められていることを実感するとともに看護の専門性そして責任というものが重く感じられるととても有意義な講演でした。

また、「健美操～こころと身体のバランスを調える～」としてフィットネスインストラクターの小野淳子先生より実演頂き、参加者からは、「自分の心身の状態を振り返れた」「リラックスできた」ととても好評でした。

10月はフットケアセンター山形のセンター長大場広美先生より「足のケア」についての研修会を行いました。足のケアを学び、実践に活かすことができるよう期待しております。

「まちの保健室」の事業では、5月・1月に山形市のべにっこひろば、6月・12月は天童市のげんキッズ、7月は西川町の水沢温泉、9月・3月は天童温泉ゆびあで地域住民の健康チェックを実施しています。血圧測定、体脂肪、健康相談等、子供から高齢者と幅広く対応させていただいています。また山形県栄養士会や理学療法士会からも協力を頂き、専門的な相談も行いました。11月は上山市のめんごりあで「まちの保健室」を行う予定です。12月・1月の「まちの保健室」は感染認定看護師も同行して手洗い指導を行う計画をしています。これからも引き続き地域の皆様に少しでも貢献できるよう取り組んでいきたいと思っています。



研修会



井上会長の講話



小野淳子先生の实演

最北支部 活動状況

研修会とまちの保健室を開催して

教育委員 齋藤 清子

最北支部では、7月20日(月)第1回支部研修会を開催しました。

はじめに、山形県看護協会の井上会長より「新たな時代に、未来につなげる看護の専門性が発揮できる地域づくり」と題してご講演をいただきました。次の教育研修は、山形県立中央病院救命救急センター看護主査である峯田雅寛氏より「災害対応に関する基本的事項と避難所での環境調整」と題してご講演をいただきました。最後のリフレッシュ研修では、美容師、エステ・アロマタッチ有資格者の齋藤歌氏より「ハンドマッサージとアロマoilでの癒し、骨格にあった美しい眉の作り方」と題し実演をしていただきました。参加者からは、「災害はタイムリーな内容で勉強になった」「再度考える機会となった」「楽しくリフレッシュできた」と好評な意見が多く聞かれましたが「もっと時間をかけて聞きたかった」という意見もありました。まちの保健室は9月8日



教育研修



リフレッシュ研修



まちの保健室

(日)県立新庄病院、10月5日(土)村山市大高根センターにおいて開催しました。血管年齢・骨密度・体組成・血圧測定・健康相談を行いました。

今後もより多くの会員の皆様が参加できるような研修会や、地域住民の健康増進に役立つような活動をしていきたいと思っています。

みんなちがってみんないい

多様な性の支援を学ぼうーLGBTQIについてー 研修会を終えて



いのちの教育推進委員会 委員長 高橋 純一

9月7日にLGBT/SOGIなどを中心に、全国で年間100件の講演を行っている埼玉医科大学の産婦人科医高橋幸子先生をお招きして、多様な性の支援を学ぶための研修会を開催しました。

講義によって性の多様性を学び、グループワークでは様々な事例を通してディスカッションすることができました。参加者より「性教育は人権教育」という言葉がとても印象的であった、「その人らしさを尊重すること」が大切だと思った、などの感想があり、性教育は「生きる教育」であるということを学べた実りある時間になりました。

いのちの教育推進委員会は今年度、病院で勤務する看護師2名、助産師3名、大学に勤務する教員1名の計6名で活動を行っています。性の健康教育を中心に地域の小・中学校、高等学校等への「出前授業」を中心とした活動や、性の健康支援ネットワーク会員のスキルアップ研修などを行っています。今年度も多くの学校から依頼を頂き「出前授業」を実施しています。今後、委員会では「いのち」の始まりだけでなく、「いのち」の終わりから「性」や「生」を多角的な視点でとらえ、いのちの教育の幅を広げていきたいと考えています。委員会の今後の活動にご期待ください。



「まちの保健室」ボランティア大募集!



「まちの保健室」推進委員会委員長 齋藤 さゆり

「まちの保健室」推進委員会では、地域住民の健康づくりの支援活動である「まちの保健室」事業の推進に努めています。「まちの保健室」とは、学校の保健室のように心や体について、気なることや悩みを気軽に相談できる場所があるといいねと始まった事業です。一緒に活動してくださる「まちの保健室」のボランティアを募集しています。看護職であればどなたでも活動でき、地域住民の方々の健康チェックや健康相談、ハンドマッサージなどを行います。



「まちの保健室」開催の様子

毎年、ボランティア育成研修会を開催しており、今年度は各支部の「まちの保健室」の活動紹介、避難者支援のボランティア活動報告、ハンドマッサージの実技について研修しました。研修会に参加することで知識が深まり、健康アドバイスやハンドマッサージの実技などに役立てることができ、未経験の方でも安心して活動することができます。

皆さんの知識や技術を是非「まちの保健室」で活かしてみませんか。登録をお待ちしております。詳しくは看護協会へお問い合わせください。

災害支援ナース100人をめざして！災害看護対策委員会

「山形県は災害が発生しない」と言われていましたが、昨年は最上地区で水害が、本年6月18日は鶴岡市で震度6弱の地震が発生しました。このような災害時に活動するのが災害支援ナースです。必要な研修を受講し、都道府県看護協会に登録します。原則3泊4日の活動で、主に各地の避難所で住民の健康管理や心のケアに当たります。派遣時は、職場との調整のうえでの派遣になります。平成30年度は新たに19名の登録がありました。

災害看護対策委員会では研修会の開催や防災訓練への参加など、災害支援ナースの皆様が継続して学習や体験ができるような支援をしています。

登録に関することは、山形県看護協会HPよりダウンロードできます。目標の100人まであと僅かです。災害支援ナースに登録して私たちと一緒に活動しましょう!



2019年10月12日、台風19号の災害が発生。10月18日から宮城県が「災害レベル2(近隣支援対応)」となり、日本看護協会の要請で、山形県看護協会・青森県看護協会は、10月22日から丸森町避難所2ヶ所へ災害支援ナースを2名ずつ派遣中です。



災害支援ナース
登録者数

R元年8月現在
合計78人

登録申請用紙はホームページよりダウンロードできます。興味のある方は、こちらからどうぞ。



認定看護師としての活動状況

認知症看護認定看護師として 認知症の方々を支えていくために



公立高島病院 認知症看護認定看護師 我孫子 久美

私は2018年に認知症看護認定看護師資格を習得しました。現在は、外来部門に勤務し、週1回の物忘れ外来の診察介助や外来に通院なさっている認知症を持つ方々、もしくは認知症の疑いのある方々への支援を行っています。昨年度より、DSTリンクナース委員会を立ち上げ、当院に入院なさっている患者さんへの認知症看護を行っております。また、少しでも認知症看護に役立ててほしいと願い、自身の自己研鑽も含め研修会の実施も行っております。

認知症を持つ方々に必要な看護とは、まずは御本人の思いを傾聴し、その生活の営みをしっかりと観察することから始まります。認知症の方は、今までわかっていたことが徐々にわからなくなっていること、できなくなっていくことへの不安やつらい思いを抱えながら生きています。かかわる認知症の方々が日々の生活でどのような困難や不自由さを感じているのか、詳細にアセスメントし、どう支援していくことが最善なのか考えることが必要です。看護実践するなかで引き出されてくる認知症の方の反応を捉え、アセスメントすることを忘れずに行っていきたいと思います。今後も当院スタッフとともに、認知症の方の思いに近づく認知症看護を実践していきたいと考えております。



「生まれる」に寄り添って



山形済生病院 アドバンス助産師 岸 あき子

アドバンス助産師としての活動のひとつ、山形済生病院の院内助産を紹介します。当院の院内助産は医師と一緒にいのちを迎えます。それは最大の強みであり自慢です。通常、医師は「救命」の立場から点で鋭い切り込みを入れて医療介入します。線で状況を判断し産む力と生まれる力が最大限になるように心身に寄り添い、時が満つるその時を見極めていく助産師との間に隔たりを感じ違和感を覚える時もあります。しかし院内助産は互いの判断や意見を尊重し、安産であるように同じ方向で最善を求めた協働ができているように感じます。お産の時の写真に偶然写った医師やスタッフのとびっきりの笑顔や涙は本来あるべきお産の姿そのものであり、その当たり前であるべき姿を可能にできるのは院内助産だと感じています。



「いいお産だね。お産ってこれだよ」と話す医師の言葉から、院内助産はつねにお産に対する気持ちに柔らかさを加え、助産師は常にお産を正常に導いていく課題を課せられます。助産師に課せられる責任は大きいですが、それは決して重くなく自らを奮い立たせ成長していく力になっています。開設してから5年目を迎え、個人からチームで携わるお産に進化した山形済生病院院内助産は次のステージでの最善に向けて、「生まれる」に寄り添っていきたいと思います。



2020(令和2)年度 山形県看護協会 改選役員及び推薦委員並びに支部役員 2021(令和3)年度 日本看護協会 代議員及び予備代議員への立候補・推薦について

選挙管理委員会からのお知らせ

選挙規則第12条に基づき、選挙の公示を行います。

令和2年6月19日(金)に開催される2020(令和2)年度通常総会(於:山形県看護協会会館)において、山形県看護協会の改選役員及び推薦委員並びに支部役員、2021(令和3)年度の日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を実施します。下記の通り、立候補、推薦の受付期間についてお知らせいたします。

★改選役員名・人数 (役員任期は1期2年)

- 副会長候補者1名 常任理事候補者2名 書記担当理事候補者1名 会計担当理事候補者1名
助産師職能理事候補者1名 看護師職能Ⅱ理事候補者1名 全区理事候補者1名 監事候補者1名
- 支部理事候補者 山形支部1名 最北支部1名
- 推薦委員候補者3名
- 支部役員
山形支部 副支部長候補者1名 書記担当役員候補者1名 会計担当役員候補者1名
最北支部 副支部長候補者1名 書記担当役員候補者1名 会計担当役員候補者1名
庄内支部 副支部長候補者1名 書記担当役員候補者1名 会計担当役員候補者1名
置賜支部 副支部長候補者1名 書記担当役員候補者1名 会計担当役員候補者1名
- 日本看護協会代議員候補者8名 予備代議員候補者8名

★受付期間など

立候補される方は、正会員3名以上の推薦を受けて、立候補届出書(様式第1号)及び立候補者推薦書(様式第2号)を選挙管理委員長に届けてください。届出用紙の様式第1号、第2号はホームページよりダウンロードするか、協会事務局に申し出てください。(☎023-685-8033)

【届出先】

〒990-2473
山形市松栄1-5-45
山形県看護協会選挙管理委員長あて

【届出締切日】

令和2年3月31日(火)郵送の場合は当日消印有効

★選挙期日及び場所

令和2年6月19日(金)山形県看護協会会館

推薦委員会からのお知らせ

令和2年度の改選役員、推薦委員、令和3年度日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者について会員各位におかれましては、次の項目に該当する方をご推薦ください。

なお、ご推薦頂いた方につきましては、推薦委員会で協議のうえ、候補者として推薦を確定させていただきます。

※改選人数と役職役員名等 選挙管理委員会からのお知らせと同じ

※推薦基準 (1)本会の目的達成のため活動に積極的に取り組み、任務を遂行できる人
(2)本会が定めた会議に出席できる人

※注意事項 あらかじめ、ご本人の意思を確認したうえで、ご推薦ください。

届出先

〒990-2473
山形市松栄1-5-45 山形県看護協会推薦委員長 あて

提出締切日

役員について
令和元年12月27日(金)

支部役員、推薦委員、日本看護協会代議員及び予備代議員
令和2年1月17日(金)

郵送の場合は、当日消印有効

※ 推薦書は、ホームページからダウンロードするか、山形県看護協会事務局にお問い合わせください。

電話 023-685-8033

勤務環境推進委員会より

町立真室川病院

ワーク・ライフ・バランス ～継続は力なり～

総看護師長 井上 典子

病院の魅力づくりから始まった WLB の取り組みも、昨年度、3 年目 WLB 推進フォローアップ研修を終え、現在 4 年目のサイクルを回している所です。また、多くの支援を受けることで、取り組み成果につながっています。

当院は「仕事と生活が両立でき、働き続けられる職場」を WLB 推進ビジョンに掲げ、インデックス調査に、現状分析と課題改善に向けた取り組みを積み重ねてきました。1 年目に、産業医より労働安全講習会開催の提案があり、WLB 説明会とのコラボが実現したことで全体周知の重要な一歩を踏み、その後 WLB 推進委員会が立ち上がっています。

課題上位の「定時で終わらない」に対し、かえるバッジはお互い様の意識向上と時間外の削減に効果がありました。入院時間調査の実施や受け持ち制導入は、スタッフ満足度がアップしています。又、WLB 新聞「つながり」で活動情報を掲載し、全体共有を図っています。苦戦した看護職以外の他職種へのアプローチは、講師依頼等、活動に巻き込む戦略で参加を得ました。



朝のストレッチ体操

2 年目ワークショップの講演では「先行施設を徹底的にパковать (TTP)」を学び、積極的に取り入れました。その波及効果は大きく、朝の健康チェックにストレッチ体操、誕生月の年休取得と定着しています。リフレッシュ研修など、職員間の交流にも力を入れました。そして、3 年目課題「個々の質向上に努め、やりがい意識を高める」は、仕事の達成感と動機付けの工夫を行い、今年 JNS ラダー学習と前進しています。

今後も委員と力を合わせ WLB 推進“無理せず継続”を目標に、魅力 (WLB 活動) の発信に努めていきたいと思っています。

最上町立最上病院

WLB 推進活動を起点に町を挙げた取り組み

総看護師長 奥本 和枝

当院では 2016 年から WLB 推進事業に取り組んでいる。まず私達は全職種からなる委員会を設置し、勤務環境のあり方等様々な活動に取り組んできた。職員全体で協力していこうという意識づけから、院内学習会、WLB ニュース mogami の発行、お互い様意識の向上のため、まず行動しようと標語や啓発スローガンの募集、サロンやスポーツ&BBQ なども行った。勤務体制改善は、夜勤についてアンケート調査、さらに実践してからのアンケート調査や検討会、院長、事務長との懇談会も実施した。人材確保にも取り組んだが、WLB 1 年目、2 年目の取り組みでは成果は得られなかった。そこで 3 年目は看護師確保にむけ、やまがた暮らしインターンシップ事業に参加、移住確保対策と連携した。内容は首都圏での相談会、移住体験ツアーの開催、空き家改修等、県・町・当院との連携による事業展開となった。「看護師・看護学生のための山形県最上町移住個別相談会」「看護師・看護学生のための最上町暮らし体験ツアー」プロジェクト等、人材確保の面では当院の自助努力だけでは限界があるため、関係機関や団体との連携による新たな企画にチャレンジした。今年度はその企画もあり、当院とウェルネスプラザ内施設で看護師の採用があった。

3 年間の WLB 推進事業に取り組むことで、病院という枠を超えて連携しあい、課題と目標意識の共有化を図ることが重要だと感じた。



がんばりました

山形県ナースセンターだより

お願い

ナースセンターご利用の求人施設

e ナースセンターのシステム改修に伴い、2019年 9月26日より、求人票に下記の項目が追加されております。求人施設の皆さまには、魅力ある求人票作成のため、ぜひご入力をお願いします。ナースセンターでの代行入力をご希望の際は、ご連絡をお願いします。また、求職者の皆さまは、これまで通り e ナースセンターをご利用いただけます。

<求人票への追加項目>

- 求人票の一言PR
 - 求人票の紹介文章
 - 求人の写真（最大3枚）
 - その他希望資格・教員募集の資格欄に「特定行為研修修了者」追加
 - 教員専門分野に「その他」追加
 - 職場分煙状況（禁煙・分煙の選択）
 - 業務内容に「小児」追加
 - 求人の特色（夜勤なし、夜勤専従、復職・ブランクOK、募集領域未経験OK、60歳以上歓迎、新卒歓迎、離島・へき地の選択）
- 求人票ごとに追加可能



eナースセンターQR



ご不明な点は、山形県ナースセンターまでお問合せください。 **023-646-8878**

「看護学生フレッシュ説明会」 「看護学校等進学説明会」終了しました

7月27日(土)山形テルサアブローズで「看護学生フレッシュ説明会・看護学校等進学説明会」が開催されました。

今年度もたくさんの来場者があり、みなさん積極的に情報収集されていました。将来の目標に向かって、みなさん頑張ってください。



看護学生フレッシュ説明会の様子



進学説明会の様子



離職される・離職中の看護職の方へ

「いつまでも輝いていた!!」をサポートします!!

離職された看護職の皆さん、まずは「とどけるん」への登録をおすすめします。離職者の状況に合わせて「復職のための研修」「無料の職業紹介」などを行っています。看護職として切れ目のないキャリアを積むことができるように支援を行います。

対象は、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許を持ちながらその仕事をされていない方です。（*現在、就業している方も届出は可能です）パソコンやインターネットを利用しての届出、書面での届け出も可能です。



とどけるんQR

看護の仕事相談会のご案内

山形県ナースセンターでは、県内10か所のハローワーク等で「看護の仕事相談会」を開催しております。就職相談、ブランクのある方への再就職に関する相談・研修のおすすめ、お仕事の悩みに関する相談、看護職をお探しの求人施設との相談など、看護職の相談員が丁寧に相談に応じます。相談は無料です。ぜひお立ち寄りください。

ハローワークやまがた

12/6・1/10・2/7・3/6

ハローワークプラザやまがた

12/24・1/28・2/25・3/24

ハローワーク寒河江

12/4・1/8・2/5・3/4

ハローワーク村山

12/24・1/27・2/26・3/23

ハローワーク新庄

12/17・1/21・2/18・3/17

ハローワーク長井

12/19・1/23・2/20・3/19

ハローワーク米沢

12/26・1/30・2/27・3/26

ハローワーク鶴岡

12/11・1/15・2/12・3/11

ハローワーク酒田

12/12・1/16・2/13・3/12

ジョブプラザさかた

12/5・1/9・2/6・3/5

*相談時間は、10時～12時、13時～15時です
(ジョブプラザさかたのみ、11時～14時)

雇用保険受給者の就職活動に該当します。
雇用保険受給証明書をご持参ください。

看護技術セミナー・ナースカフェ 報告

山形県ナースセンターでは、今年度も「看護技術セミナー・ナースカフェ」を開催しています。復職に向けて第一歩を踏み出したい方や、看護の経験があっても、もっと知識を深めたい方など、参加者は、熱心に取り組まれており、情報交換なども活発に行われました。

今後は、12月と2月には当協会で開催します。不安があって復職をためらっている看護職の皆さん！復職の一歩を踏み出しましょう。ご参加をお待ちしております。



「看護技術セミナー・ナースカフェ」今後の予定

12月11日(水)…病院で役立つ救急対応
2月26日(水)…静脈採血や点滴のやり方を学ぼう

1歳から未就学児(先着順)を対象に無料の託児もあります。是非、ご利用ください。

令和元年度

医療職のワーク・ライフ・バランス推進ワーク 終了しました!

10月15日(火)・16日(水)に山形県看護協会で、「医療職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」が開催されました。1日目は、順仁堂遊佐病院副院長兼看護部長の信夫松子様より「WLBの基本的考え方からアクションプランの立案」について講演いただきました。実際にWLBに取り組まれた成果なども講演いただき、これから取り組まれる参加病院の方々の参考になったようです。また、2日間にわたり、参加施設ごとにインデックス調査結果の分析から問題・課題などを明確にする個別ワークがおこなわれ、最終日の発表では、個別ワークから見た問題や今後の課題等を明確にでき、他部署との連携を図ることが出来たのではないのでしょうか。



信夫先生の講演は、とってもわかりやすいです!



医療職の
WLBフォローアップワークショップ
2月22日(土)開催決定!



これまでの参加施設の成果は、ポスターセッションで見ることができます。



活発な意見交換がおこなわれています!



山形県ナースセンター(山形県看護協会内)

☎023-646-8878 e-mail:yamagata@nurse-center.net

2020年度入会・継続手続きが始まります!!

2019年度会員の方には、9月18日時点の会員データに基づき、11月より「2020年度会費のお知らせ」が順次届きます。登録内容をご確認ください。施設を退職された方は、お手数ですが、山形県看護協会にご返送ください。

継続会員の方

変更なし⇒お手続き不要 自動継続

会員情報・口座情報 変更・不備あり

⇒「会員情報変更届」(青色の用紙右半分)をご提出ください。

勤務先がある方: グレーの封筒に入れ施設とりまとめ担当者へ提出

勤務先がない方: オレンジの封筒に入れ切手を貼りポストに投函

※「会員情報」は  **キャリアナース** から変更が可能です。利用するにはユーザー登録が必要です。キャリアナースから変更された場合、「会員情報変更届」(青色)の提出は不要です。

▶キャリアナースURL:<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>



★ 送付先(事務委託会社)

〒206-8790

日本郵便株式会社多摩郵便局私書箱第21号

公益社団法人日本看護協会

都道府県看護協会会員登録事務局 宛

新規・再入会の方

2020年度「入会申込書／会員情報変更届」(緑色)用紙をご使用のうえ、上記事務委託会社へ送付ください。
「入会申込書／会員情報変更届」(緑色)用紙ご希望の方は、山形県看護協会へご連絡ください。

継続しない方・県外へ転出予定の方

会費納入方法が「口座振替」の方は、2020年1月27日が初回引落日のため、12月20日(金)まで山形県看護協会へご連絡ください。退会ご希望の方は、「退会届」を山形県看護協会へ送付ください。「退会届」は山形県看護協会ホームページよりダウンロード可能です。

会費納入について

◎口座振替:初回引落日:2020年1月27日(不備がない場合)

毎月15日まで受付完了分、翌月27日に引落しされます。

◎銀行振込・コンビニ払込:同封の専用用紙に記載の都道府県と年度を確認しお支払いください。

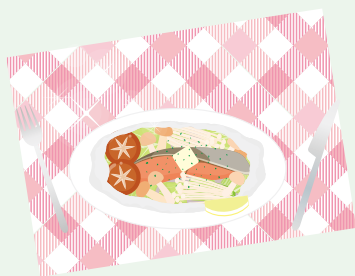
◎施設とりまとめ:施設用WEBにて会費納入者の特定作業後、専用口座へお振込みください。



簡単時短レシピ シリーズ1

材料(3人分)

鮭(甘塩)	3切れ
玉ねぎ	半分
エリンギ(きのこ何でも)	半パック
お酒	大さじ1
オリーブ油	少々
好みのスパイス(こしょう)	少々



クッキングシートで楽ちん!! 鮭の電子レンジ蒸し

作り方

1. 玉ねぎとエリンギを薄切りにする。
2. クッキングシートをA4くらいの大きさに切る。
3. 鮭、玉ねぎ、エリンギの順に重ねていく。
4. その上からスパイス、お酒、オリーブ油をかける。(お好みでチーズをのせてもOK)
5. クッキングシートでキャンディー包みにする。
6. お皿にのせて1包みあたり、600Wで4分、電子レンジにかける。
7. 具に火が通ったら出来上がり。

ぜひお試しください!

2020年度公益社団法人 日本看護協会長表彰候補者 の調査について



当協会ホームページに掲載しておりますとおり日本看護協会長表彰候補者の調査を行っております。推薦者がいまいましたら、協会宛てに候補者調査をお送りください。詳細は、協会ホームページの新着情報をご参照いただくか、下記へお問い合わせ願います。

提出期限: 令和元年11月29日(金)

問合せ・提出先: 山形県看護協会 総務課 宛

電話番号: 023-685-8033

図書室からのお知らせ

2020年1月27日(月)～31日(金)は蔵書点検のため休室いたします。

